

あいさつができる児童生徒の育成

～「学校・家庭・地域」の取組み～

吉岡町学校運営協議会では、吉岡町の子どもたちが予測困難な未来をたくましく生きる力を育むため、学校教育の充実はもとより、家庭や地域とも連携して子どもたちを育てる視点で協議を進めています。今年度は、委員から『地域づくり』の視点からもあいさつは重要。近所の人とすれ違ってもあいさつできないことが多くなったと感じる。子どものうちから『あいさつ』できるようになることは重要なことではないか。」という提案があり、「あいさつ」をテーマに熟議を重ねました。

「あいさつ」について、「学校」「家庭」「地域」の各部会に分かれて現状やどのようにしたらよいかについて、熟議を行いました。その内容について報告いたしますのでご一読いただき、ご理解ご協力をくださいますようお願いいたします。

学校運営協議会は、今後も吉岡町の子どもたちのために活動していきます。ご意見等ありましたら委員・事務局にご一報いただければ幸いです。

令和5年度吉岡町学校運営協議会

(令和5年度の学校運営協議会委員)

会 長	大竹 祐治	(元駒寄小学校校長)	委 員	山崎 栄寿	(駒寄小学校長)
副会長	邑上 信子	(吉岡町主任児童委員)	同	高橋 伸	(吉岡中学校長)
委 員	大林 せり	(明治小学校 PTA 会長)	同	柴崎 尚長	(第四保育園長)
同	伊藤 雄大	(駒寄小学校 PTA 会長)	同	福田 文男	(社会福祉協議会局長)
同	平方 信吾	(吉岡中学校 PTA 会長)	同	原澤 隆	(コーディネーター)
同	須藤 利仁	(自治会連合会副会長)	同	内田 伸一	(コーディネーター)
同	大井 正昭	(北下地区自治会長)	同	長島 忠行	(教育長職務代理者)
同	千明 誠	(駒寄地区自治会長)	同	田中 知子	(教育長職務代理者)
同	小和瀬明香	(吉岡町主任児童委員)	(長島委員～9月)		
同	須藤 昭利	(明治小学校長)	(田中委員 10月～)		

「あいさつ」ができる児童生徒の育成について

<学校部会>

- ・場に応じてあいさつのできる、あいさつされたときにあいさつが返せる児童生徒を育成する。(知り合いとすれ違ったときはあいさつをする。親しい人には自分からあいさつする等)
- ・学校では「児童会」「生徒会」であいさつ運動を行っている。
- ・子どもに指導をする以上、大人もきちんとあいさつするようにしなければならない。(教職員)
- ・地域の人にも登下校の際、子どもへの声がけはお願いしたい。



◎子どもが自ら気づき考えるための雰囲気づくりを行う。そのために、子どもの「あいさつ週間」に併せて、家庭・教職員への啓発を行う。(メール・チャット・呼びかけ)

<家庭部会>

- ・あいさつを返す子、進んであいさつする子を育成する。そのためには「親の手本」が必要。
- ・親があいさつ運動に出るのはいかがでしょうか。
- ・標語コンテスト、あいさつチャレンジデーの実施。

◎地域の行事に積極的に参加する。知り合いを増やす。

◎運営協議会の委員はそれぞれの立場のところであいさつの話をする。⇒「発信」が大事。

<地域部会>



- ・「よしおかの子育成プラン」をもとにした連携を進める。(各組織からの働きかけが必要なことがわかる)
- ・あいさつを返す、一言添える(ほめる)、つながりをつくる。(行事・吉ボラ等)
- ・ためらわずに積極的な声がけを行う。→町づくり、防犯につながる。あいさつ、返事、後始末は大切。

◎つながる機会(場)の設定

「子どもボランティア」の活用、地域行事を世代間交流として継続していく。

◎積極的な声がけが響く町づくり→「ニッコリ」「ほめる」「くり返す」

この資料は、吉岡町学校運営協議会のWEBページ(吉岡中学校WEBページ内)にも掲載されています。また、吉岡町教育委員会、明治小学校、駒寄小学校WEBページにリンクを貼り付けてあります。

吉岡町学校運営協議会WEBページURL
(吉岡中学校WEBページ内)

<https://x.gd/PCcd7>



(問合せ先：吉岡町学校運営協議会事務局(吉岡中学校内) 電話 0279-54-3213)